

2023 年度の事業報告書

2023 年 4 月 13 日から 2024 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人スーパーサイエンティストプログラムプラス

1 事業の成果

- ・以下の事業を実施した。
- ・全国から中高生を募り、新規受講生 5 名を含む 8 名に対し科学研究活動の指導を行った。
- ・毎週 1 時間程度実施したオンラインによる研究指導と、今年度（2023 年度）中に対面での研究指導を 4 回実施した。
- ・前年度までの研究指導により、1 名が国際学会で発表を行った。
- ・今年度の研究指導により、翌年度に国際学会 2 件、国内学会 1 件の発表を予定している。
- ・事業の一部は、公益財団法人電気通信普及財団による「ICT とハンズオンを併用した SDGs 課題解決能力を有する人材育成法の開発」の助成を受けた国立大学法人滋賀医科大学（以下、滋医大）と一部共同で実施した。
- ・事業の一部は、「探求初歩講座」を開催する国立大学法人北海道大学 DX 教育連携部門（以下、北大 DX）と一部共同で実施した。
- ・その他の詳細は、本法人ホームページ (<https://sspplus.org/>) に掲示する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
①高校生・高専生による主体的な研究活動のサポート事業	・研究活動に興味のある中高生を全国的に募集し、週 1 回のオンラインミーティング等を通じて研究指導を行った。 ・滋医大と一部共同実施した。	(A)週 1 回程度 (B)オンライン (C)約 15 名	(D)中高生 (E)8 名	5
②研究成果発表ならびに受講生間での交流会事業	2023 年度第 1 回交流会 ・受講生間の交流を図るとともに、対面での研究発表練習や日本地球惑星科学連合の発表・見学を行った。 ・滋医大と一部共同実施した。	(A)5/21 (B)幕張メッセ等 (C)4 名	(D)中高生 (E)2 名	0
	2023 年度第 2 回交流会 ・新年度受講生間の交流を図るとともに、対面による集中的な研究議論や、TA による研究発表を行った。 ・滋医大と一部共同実施した。	(A)10/14-15 (B)北大東京オフィス (C)7 名	(D)中高生 (E)5 名	351

	<p>2023 年度第 3 回交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講生の集中的な研究活動の取組を支援するとともに、衛星画像解析の講義や Johns Hopkins 大学応用物理研究所の R.Lorenz 博士による特別講演、宇宙ミッションセンターの見学を行った。 ・「探求初歩講座」として北大 DX と一部共同実施した。 	<p>(A) 1/5-7</p> <p>(B) 北大エンレイソウ</p> <p>(C) 4 名</p>	<p>(D) 中高生</p> <p>(E) 3 名</p>	<p>331</p>
	<p>2023 年度第 4 回交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講生間の研究議論の場を設けるとともに、研究者 3 名による招待講演等を行った。 ・「探求初歩講座」として北大 DX と一部共同実施した。 ・滋医大と一部共同実施した。 	<p>(A) 3/28-30</p> <p>(B) 北大エンレイソウ</p> <p>(C) 6 名</p>	<p>(D) 中高生</p> <p>(E) 4 名</p>	<p>共同実施 1 507 共同実施 2 80</p>